

論文 「地域中心都市における市街地の活性化」

「地域中心都市における市街地の活性化について」――菊池市の場合――

これは私が昭和63年夏よりチャレンジしていたカリフォルニア コースト大学の卒業論文のタイトルであります。

菊池市が、菊池郡市の中心都市として生き残る為の、市街地の重要性を説き、市街地の現状と活性化の方策を自分なりに考えて書いた論文です。400字詰め原稿用紙50枚程度の内容で全文は掲載できませんので、書きたしの部分を掲載したいと思います。

1. はじめに――地域中心都市における市街地の役割

菊池市は、人口2万8千人の非常に小さい自治体である。しかしながら昔から、菊池郡市の政治、経済、文化の中心都市としてその役割をはたしてきた。近年、車社会の発展にともない、本市の市街地は、衰退の一途



▶卒業証書と卒業論文を手にする前川議員

をたどっているが、市街地の衰退と同時に進行で、近隣地域の中心都市としての機能も魅力も薄れてきている現状である。このことは市街地がたんにそこに住む人たちの生活スペースというだ

けでなく、近隣地域を含めた生活者の為の非常に公共性の高い、コミュニティースペースであることを物語っていると思う。

東京一極集中の弊害が叫ばれて久しいが、菊池市のような地方の中の地方都市にとっては、むしろ東京よりも地方中核都市、菊池市がある熊本県にとっては、熊本市への一極集中の方がむしろ大きな問題である。

菊池市を中心とした近隣町村は、すでに熊本市のベッドタウン化しつつあり、熊本県内においても有数の人口急増地域である。そのことは、菊池市の市街地活性化の自助努力の如何にかかわらず、むしろ時代の大きな流れとして、近隣町村も受けとめ、すでに各行政体も熊本市の方を向いて、機能しているようである。

しかし、わたしは、熊本市の問題は別としても、菊池市が地域中心都市として、生き残っていく為には、もう一度、市街地の活性化について真剣に考えていく必要があると思う。

なぜなら、市街地とくに商店街は、今単に買物スペースということではなく、様々な生活者の欲求に應えられる場所でなくてはならないし、かつ地域生活者の為の、色々な、生活情報の発信基地として、大きな役割を背負っている訳である。このことが、地域中心都市として、求心力を発揮する上で、非常に重要であり、魅力ある市街地は、地域中心都市の必要条件であると考ええる。

菊池市が近隣地域の、政治、文化、経済の中心都市として生き残っていく為には、市街地の重要性というものを、もう一度再確認して、その活性化の方策を考え、重要な社会資本として、整備していく必要があると思う。菊池市が地域中心都市であるべきだというのは、菊池市民である、わたしのエゴかもしれないが、すくなくとも、地域の中心都市としての市街地の重要性というものを考え、その方策についてわたしなりに探ってみたいと思うのである。

未来のために



議員が、市民の負託に答え、自らの考えや疑問点を、市長をはじめとする執行部に問う重要な議会活動の一つが一般質問であります。前川議員は単に本市の未来を見つめた重要な方策を問い、提言をしまりました。これまで10回に渡る質問は、すべて発展的な内容の質問であり、すでに実現した政策もたくさんあります。今回は、前川議員の質問事項を簡単に掲載し、その議会活動の一端を御紹介します。

◀ 議場で発言する前川議員

(紙面の都合上10回中7回分を紹介いたします。残りは次号で紹介いたします。)

質問事項

簡単な内容

その結果として

昭和63年12月定例会

- | | | |
|-------------|-------------------------|----------------------|
| ・市街地再開発について | → 区画整理だけで市街地活性化につながるのか | → 特定商業集積法を活用 |
| ・観光開発について | → 観光客の市街地への誘動と歴史の活用 | → 菊池武光公の銅像、御所通り景観づくり |
| ・人口問題について | → 企業誘致的な考え方で住宅誘致を考えてみては | → 第3次総合計画の住宅政策へ反映 |

平成元年3月定例会

- | | | |
|-----------------|---|----------------|
| ・ふるさと創生事業について | → 菊池市の中心地に歴史と文化の街のシンボルとして武光公の銅像をつくってみては | → ふるさと創生市民広場完成 |
| ・新興住宅（ミニ開発）について | → ミニ開発に対しての道路や公園などを作る指導 | → 検討中 |

平成元年9月定例会

- | | | |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| ・財政問題について | → 財政再建5ヶ年計画について | → 無事に財政再建5ヶ年計画終了、しかし尚きびしい財政状況 |
| ・ふるさと創生事業について | → 農校跡地を売却せずに市民広場とシンボル像を | → ふるさと創生市民広場完成 |

平成元年12月定例会

- | | | |
|---------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| ・葉山住宅の代替移転について | → 中心市街地活性化の為に第3幼楽園跡地に建設しては | → 刈園団地として建設中、平成4年度一期工事完成予定 |
| ・文化事業（歴史民俗資料収集）について | → 歴史的、文化的資源の掘り起こしを | → 現在も社会教育事業で進行中、市民広場物産館に歴史民俗資料館完成 |
| ・菊池市史の再発行について | → 貴重な歴史資料である菊池市史を再発行してほしい | → 部数がまとまらないと再刊できない |

菊池市の明るい

質問事項

簡単な内容

その結果として

平成2年3月定例会

- ・限府中央土地区画整理事業について → 区画整理事業に対する市長の考えについて → 市長は「やるかやらんかではなしに、やらねばならない事業」と答弁
- ・議会のテレビモニター放映について → 市民によりオープンな議会にする為に議場内を映すテレビモニター設置を → 現在市役所玄関ロビーと議場の前に設置。尚庁内放送で議場の模様も流れている

平成2年6月定例会

- ・第3次総合計画について → 第2次総合計画の目標達成が出来たかを検討 → 第2次総合計画の反省をふまえ、第3次総合計画はより実現可能な内容となる
- ・博多祇園町遺跡より出土した埋蔵文化財（菊池一族の頭骨）について → 頭骨が学術上90%以上菊池氏のものであるのなら、埋蔵文化財として菊池へ持ち帰れないか → 現在菊池神社宝物殿に福岡市教育委員会より借り受け安置してある。650年ぶりの里帰りができた。

平成2年12月定例会

- ・人口問題について → 国勢調査の結果菊池郡市で本市だけが人口減である、人口増加対策について → 第3次総合計画に実現可能な人口3万人を設定
- ・企業誘致について → 森北工業団地のあとの、工業団地について → 現在用地の選定中
- ・住宅誘致について → 人口増加対策としての住宅誘致について → 第3次総合計画に基づき具体的計画立案中
- ・開発行為について → 竜門ダム終了後の本市の経済対策について → 各種開発行為に対する窓口として企画開発課を設置
- ・用途地域の見直しについて → 現在の都市計画用途地域は現状にそぐわない、経済効果を考えて見直しを → 10数年ぶりに見直し作業開始、現在調査中

第2回 日本の防衛と国際情勢を考える集い

▶主催者としてお礼の挨拶



▶自衛隊を代表して村山一等陸佐



▶魚住防衛政務次官



熊本県防衛協会青年部会菊池支部（支部長前川収市議）の主催により「第2回日本の防衛と国際情勢を考える集い」を開催いたしました。

平成4年6月7日、この日は日本の未来を左右する大変重要な、PKO法案の審議中であり、参議院の牛歩国会のまっ只中、その法案の提出責任者である、魚住汎英防衛政務次官をお招きして、「日本の防衛と国際情勢について」の御講演をいただきました。

又、自衛隊の方からは、昨年の台風17号、19号による風倒木災害の除去作業で、本市も大変御世話になりましたが、その風倒木除去の責任者であられた、陸上自衛隊第八師団司令部第三部長、村山文彦一等陸佐に、「自衛隊の災害救援活動について」御講演をいただきました。

魚住防衛政務次官は、PKO国会の参議院の牛歩国会の合間を縫って、まさに国民の最大関心事である「PKO法案」について、国際情勢とからめてわかり易くお話しいただきました。おそらく、あの時機に現職閣僚の講演を生で聞くことが出来たのは菊池市民だけであり、魚住防衛政務次官が地元菊池の住人であるからこそと思います。文化会館大ホールほぼ満杯の観衆皆様も、大変有意義な講演会だったと、よろこんでいただいた一夜でありました。

今、政治家に期待するもの



東京都名誉都民
カリフォルニア コースト大学 日本校
学長 磯村 英一

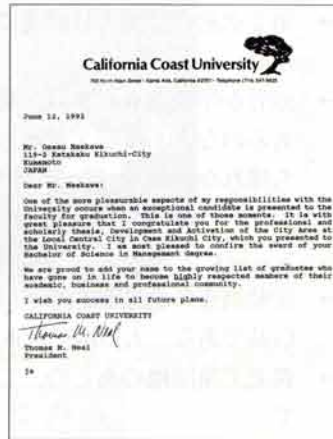
日本の政治は今大きく変わることが、ほとんどの国民から問われている。これまでの政治家は、その弁説をもって国民を指導しようとした。しかし、世界的な「情報化の時代」になって、国民は、政治家の弁説は知りつくしている。
今求めているのは、「何を」ではなく、「何を」したかである。
残念ながら、今の日本の政治には、この「行動が理論であることを実践するものがない、古いことをいうようだが、明治の改革には、この行動に「哲学」があった。

前川君は、たしかに「知識」としての学位を得た。しかしそれは行動に生かされなければ「名刺」の肩書が一行増えるにすぎない。
私は、彼が学位を得ることを推せんしたのは、その書かれた知識（論文）が必ず彼の政治の路線で生かされることを察知したからである。
すでに国際社会のリーダーの仲間になっている日本が、今求めているのは「ペーパー博士」ではない。行動の政治である。今われわれは、少なくともこのような時代の先端に立つ彼が、どのようなスタートを切るか、しっかりと見詰めている。その前途が、21世紀の日本の期待に沿うものであることを心から祈る。

卒業を祝うメッセージ



カリフォルニア コースト大学
学長 トーマス・M・ニール



前川 收 殿
本学での私の責務の中で、より喜ばしい面のひとつは、卓越した学位候補者が卒業の為に学部へ提出された時に発生します。

あなたの場合もそのひとつであります。あなたが本学に提出された「地域中心城市における市街地の活性化について」菊池市の場合」というタイトルの、プロフェシヨナルで学究的な学位論文に対して、お祝いを申し上げることは、最大の喜びであります。

あなたへの、経営学士を授与することは欣快の至りであります。
あなたを卒業生（世に出て学問、実業、知的職業の社会で尊敬されるメンバーとなった人たち）の年々増えているリストに貴名を加えることを誇りいたします。

前川おさむプロフィール

- ・生年月日/昭和35年7月9日
- ・血液型/O型
- ・経歴/県立鹿本高校 昭和54年卒業、九州測量専門学校土木建設科 昭和56年卒業、平成4年カリフォルニアコースト大学経営学部卒業、東海測量設計社 昭和56年入社 昭和59年 退社、㈱八方建設 昭和59年入社、㈱キクチゴルフセンター 昭和59年 創立、菊池市議会議員 昭和63年 初当選(1期)、菊池市議会議員 平成元年当選(2期)
- ・主な役職/菊池市文教厚生常任副委員長
自由民主党熊本県連青年部長
菊池市商工会理事
菊池市商工会青年部理事
菊池青年会議所委員
熊本県防衛協会青年部菊池支部長



前川おさむ後援会

事務所：〒861-13菊池市赤星2114-1
TEL 0968-24-2171 FAX 0968-24-2111

自宅：〒861-13菊池市片角119-2
TEL 0968-24-0471

「議員より一言」

山の緑も少しづつ紅に染まり、冬の気配を感じるこの季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。
わたしにとっては、冬の足音と共に、4年に一度の選挙の時が近づいている訳で、もう4年たったのか、「アッ」という間だなというのが正直な気持ちであります。
今度の選挙は、一回目、二回目の選挙とは違って、4年間の実績を問う選挙であり、磯村先生からいただいたメッセージの中にある、「何を」したか」の評価を頂く選挙であると考えております。自分自身で納得のいく活動が出来たかどうか、大きな疑問もありませんが、皆様に送っているこの会報「新風」も、わたしの「行動」の一部として御理解頂きますようお願い申し上げます。
「政治とお金」の関係が、国民的な問題になっている今日、わたしも政治家のひとりとして、政治改革に真剣に取り組んでいこうと考えております。政治改革は国政レベルのみの問題ではなく、わたしたちのような地方議会の議員も、大きな反省にたつて考え直す時機にきていると思います。
次の「新風」で、わたしが次の選挙に掲げる公約と政策の発表をいたします。現在それをまとめていく段階ではありますが、ぜひ皆様の御意見を聞かせてください。皆様の郷土に対する「夢」を形にしていけるのが、議員の一番大事な仕事だと考えております。皆様の御意見をお待ちしております。